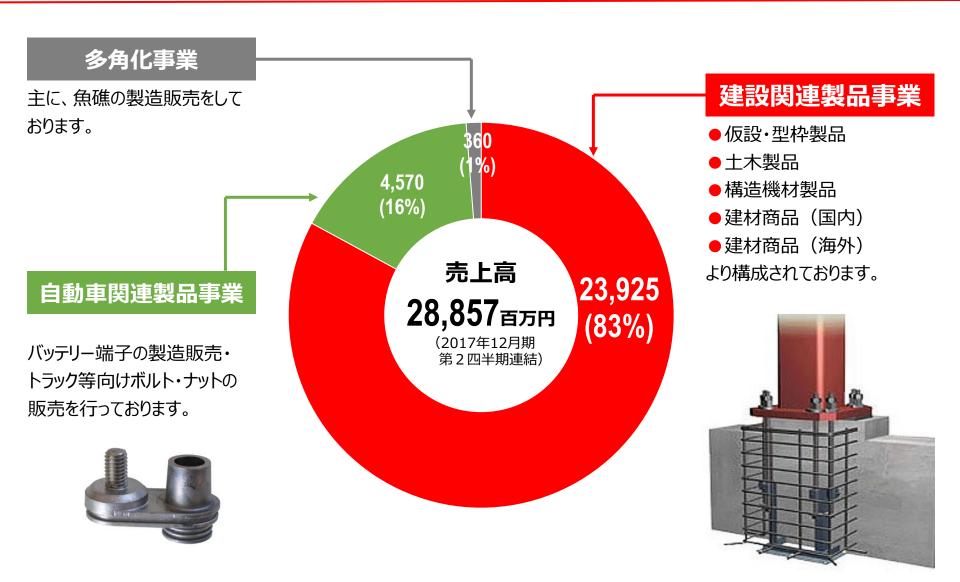
2017年12月期第2四半期 決第1時期第2四半期 決第1時期第2四半期



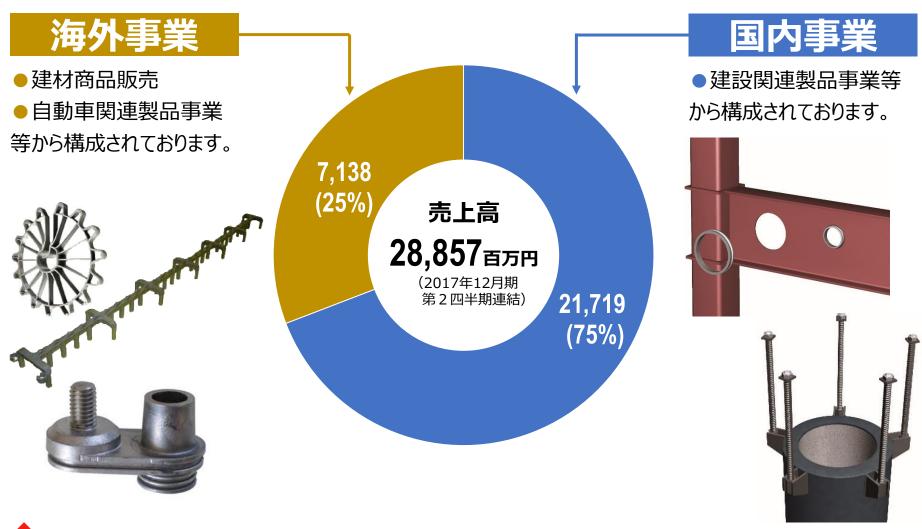
本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

岡部グループの事業領域





国内·海外売上比率



中期経営計画 2017-2019

NEXT100 ~ Exciting Future ~

STRATEGY

3つの柱

VISION

Global Maker

安全と安心の提供を通じて 社会に貢献するグローバル・メーカ・

コア事業への 経営資源の集中

技術力

🗶 ワクワク



建設関連製品事業

自動車関連製品事業

多角化事業

VALUE & STRUCTURE

Strengthen

経営基盤の強化

グローバル展開推進

新製品開発強化

経営基盤~4つの強化策

- 創業期以来の社是の再確認
- 2 多様な人材獲得・育成(人材のグローバル化とダイバーシティ)
- 3 IT化のさらなる推進による職場環境の改善と業務効率化
- 4 ガバナンス強化

本日のアジェンダ

I. 2017年12月期 第2四半期連結業績概要

Ⅱ. 2017年12月期 通期連結業績の見通し

Ⅲ. Topics:中期経営計画実行の取り組みについて



I. 2017年12月期 第2四半期連結業績概要



2017年第2四半期サマリー

プラス要因

マイナス要因

建設関連製品事業

●構造機材製品・土木製品の売上増加

建設関連製品事業(北米)

●OCM社の販売が引き続き伸張

建設関連製品事業(北米)自動車関連製品事業

●円高による為替換算レートの影響

多角化事業

●魚礁の大型案件の翌四半期以降へのずれ込み



セグメント別・製品別売上高 【前期比】

(单位	(単位:百万円)			2016 2Q累計	2017 2Q累計	増減額	増減率	
	仮設	と・型	上枠 隻	! 뭐	3,498	3,471	△27	△0.8%
製	土	木	製	品	2,535	2,813	277	10.9%
品	構造	き 機	材製	. 品	8,320	9,339	1,019	12.3%
別	建	材	商	品	6,237	6,012	△224	△3.6 %
	建材	商品	(海ダ	外)	2,155	2,289	133	6.2%
建	設関	連製	品事	業	22,746	23,925	1,179	5.2%
自	動車隊	関連	製品事	事業	4,666	4,570	△95	△2.0 %
木	テ	ル	事	業	2,422	_	_	_
多	角	化	事	業	520	360	△159	△30.7%
合				計	30,355	28,857	△1,498	△4.9%



セグメント別営業利益【前期比】

(単位	: 百万円	1)			2016 2Q累計	2017 2Q累計	増減額	増減率
建設	设関	連製	品事	業	1,606	1,721	115	7.2%
自動車関連製品事業					507	450	△57	∆11.3 <i>%</i>
木	テ	ル	事	業	△136	_	_	_
多	角	化	事	業	△30	△75	△45	_
合				計	1,946	2,095	149	7.7%



連結業績概況【前期比】

(単位:百万円)				2016 2Q累計	2017 2Q累計	増減額	増減率
売	٢	<u>-</u>	高	30,355	28,857	△1,498	△ 4.9 %
営	業	利	益	1,946	2,095	149	7.7%
(営	営業系	刂益逕	室)	6.4 %	7.3%	_	_
経	常	利	益	2,007	2,115	107	5.4 <i>%</i>
親会当	社株主 期 約		する 益	1,164	1,278	113	9.8 %



連結財務状況【前期比】

(単位:百万円)	2016 期末	2017 2Q末	増減額	
資 産	81,919	85,687	3,768	
(現 預 金)	22,694	25,431	2,737	
(棚卸資産)	7,010	8,068	1,058	
(有形固定資産)	16,951	18,396	1,444	
負 債	30,514	32,065	1,550	
(有利子負債)	9,791	11,157	1,366	
純 資 産	51,404	53,622	2,217	
※自己資本比率	62.8%	62.6%		

Ⅱ. 2017年12月期 通期連結業績の見通し



2017年下期(7~12月)の外部要因見通し

プラス要因

建設関連製品事業 ●首都圏の大規模再

●首都圏の大規模再開発等の着工により、着工床面積が 引き続き堅調に推移

懸念材料

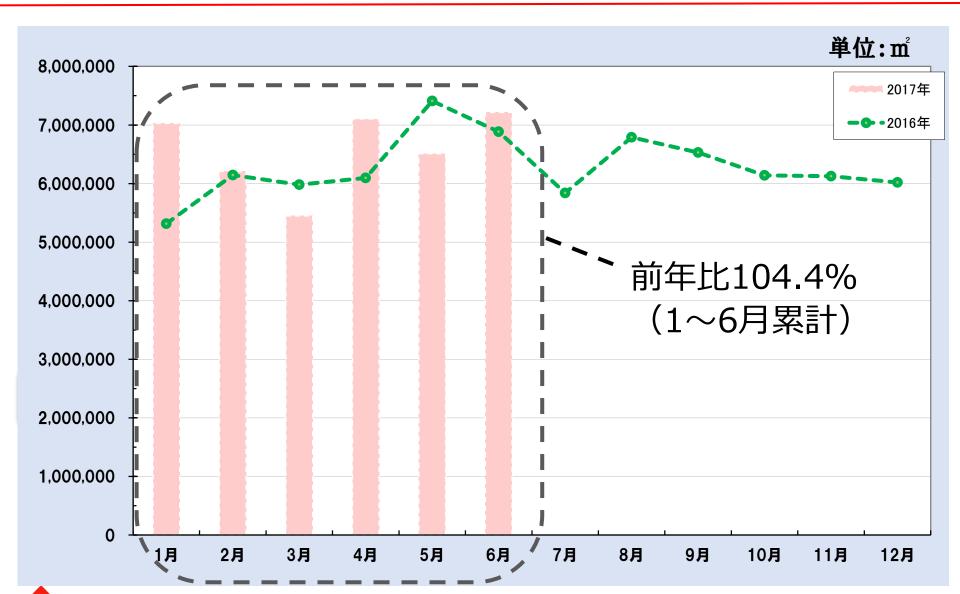
建設関連製品事業

自動車関連製品事業

- ●鋼材価格の上昇
- ●為替の動向



2017年 建設着工床面積 推移



アクションプラン

建設関連製品事業

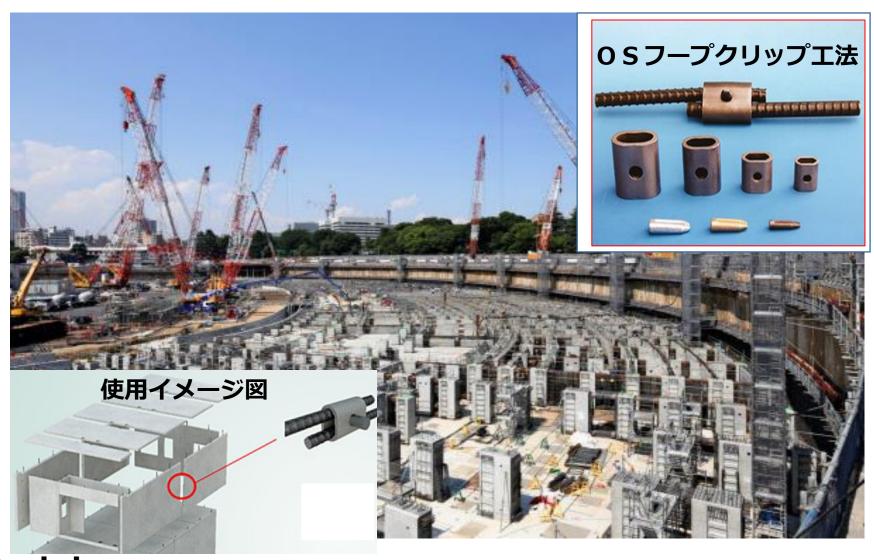
- ●提案型営業の強化による需要の取込み
- ●鋼材価格上昇対策と適切な価格転嫁

自動車関連製品事業

- ●北米の営業強化による地位の確保。
- ●好調の欧州にて、引き続きシェア向上を図る。



工法に対応した提案営業の取り組み



省力化工法の提案営業の取り組み

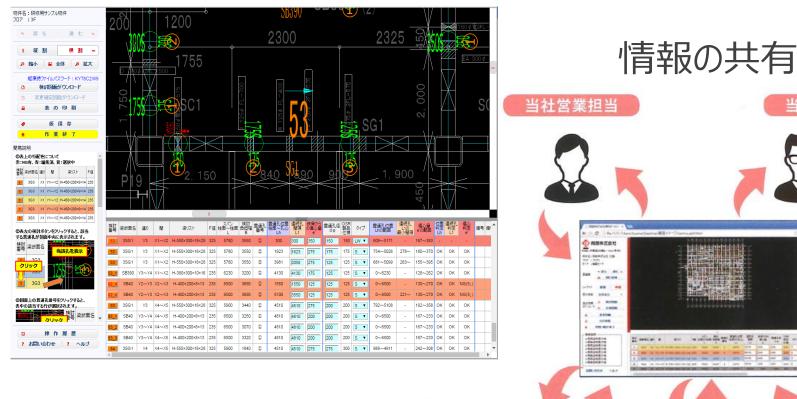






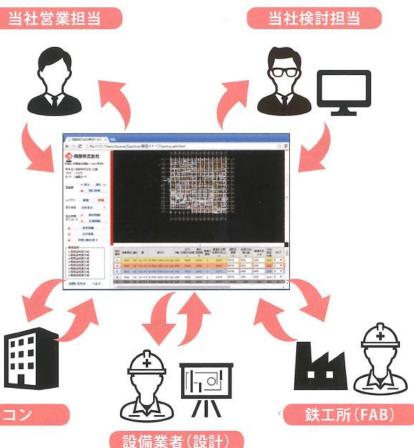


OSリングにおける提案営業の取り組み(CRSS)



- ・検討の迅速化
- ・利便性の提供など





耐震·免震·省力化工法



オクトベース

クラウンパイルアンカー

下期セグメント別・製品別売上高予想【7月~12月】

(単位	立:百万円	∃)			2016 下期実績	2017 下期予想	増減額	増減率
	仮設	날 • 포	中 製		3,595	3,905	310	8.6%
製	土	木	製	品	3,018	3,259	241	8.0%
品	構造	き 機	材製	品	10,022	11,160	1,138	11.4%
別	建	材	商	品	5,987	6,747	760	12.7%
	建材	商品	(海ダ	外)	2,340	2,400	60	2.6%
建	設関	連製	! 品 事	事業	24,964	27,474	2,509	10.1 %
自動	動車	関連	製品導	事業	4,309	4,429	119	2.8%
木	テ	ル	事	業	2,781	_	_	_
多	角	化	事	業	779	1,239	459	59.0 %
合				計	32,834	33,142	307	0.9%



下期セグメント別営業利益予想【7月~12月】

(単位:百万	ī円)			2016 下期実績	2017 下期予想	増減額	増減率
建設関]連製	. 品事	業	2,334	2,728	394	16.9 <i>%</i>
自動車関連製品事業				514	629	115	22.5%
ホテ	ル	事	業	638	_	_	_
多角	化	事	業	94	245	151	160.8 <i>%</i>
合			計	3,581	3,604	22	0.6%



下期連結業績予想【7月~12月】

(単位	: 百万円)			2016 下期実績	2017 下期予想	増減額	増減率
売	上		高	32,834	33,142	307	0.9%
営	業	利	益	3,581	3,604	22	0.6%
経	常	利	益	3,772	3,684	△88	△2.3%
親会	社株主 期 約	_	まする 益	6,697	2,361	△4,335	△64.7 <i>%</i>



連結業績予想【年間】

(単位:百万円)				2016 実績	2017 予想	増減額	増減率
売		<u>-</u>	高	63,190	62,000	△1,190	∆1.9%
営	業	利	益	5,527	5,700	172	3.1%
(営	営業和	刂益逕	室)	8.7%	9.2%	_	_
経	常	利	益	5,780	5,800	19	0.3%
親会当	社株主 期 約		まする 益	7,861	3,640	△4,221	∆53.7 <i>%</i>



資産収益性について

財務の健全性を維持しつつ、資産収益性の向上を図る

2017 (予想)	2016	2015	2014	(単位:百万円)		
5,800	5,780	6,539	7,262	」益	常 利	経
84,567	82,853	83,940	81,097	産	資	総
6.9%	7.0 %	7.8 <i>%</i>	9.0 <i>%</i>	Α	Ο	R
3,640	7,861	4,234	4,433	^帚 属する 利 益	社株主に帰原 期 純 利	親会当
51,717	50,003	47,877	44,866	産	資	純
7.0%	15.7%	8.8%	9.9%	Е	0	R

[※]貸借対照表上の数字は期中平均を使用しております。



配当について

•100周年の記念配当を実施(年間6円)

	2014	2015	2016	2017 (予想)
1 株当たり当期純利益	84.52円	81.62円	155.10円	71.8円
1 株 当 た り 配 当 金 額	22.00円	24.00円	24.00円	30.00円
連結配当性向	26.0 <i>%</i>	29.4 <i>%</i>	15.5 <i>%</i>	41.8%



Ⅲ. Topics:中期経営計画実行の取り組みについて



中期経営計画 2017-2019

NEXT100 ~ Exciting Future ~

STRATEGY

3つの柱

VISION

Global Maker

安全と安心の提供を通じて 社会に貢献するグローバル・メーカ-

コア事業への 経営資源の集中

新製品開発強化

技術力

× ワクワク



建設関連製品事業

自動車関連製品事業

多角化事業

VALUE & STRUCTURE

Strengthen

経営基盤の強化

グローバル展開推進

経営基盤~4つの強化策

- 創業期以来の社是の再確認
- 2 多様な人材獲得・育成(人材のグローバル化とダイバーシティ)
- 3 IT化のさらなる推進による職場環境の改善と業務効率化
- 4 ガバナンス強化

NEXT100 ビジョン実現のための3つの柱

1 コア事業への経営資源の集中

コア事業(建設関連製品・自動車関連製品)へ経営資源を集中します。

2 新製品開発強化

建設資材・自動車部品(バッテリー端子等)・海洋の各事業において成長領域の製品開発に取り組みます。

将来的に売上高50億円を新たに生み出す製品を、この3年間で市場投入してまいります。

3 グローバル展開推進

建設資材・自動車部品・海洋の各事業において海外展開をさらに積極的に推進します。 経常利益の海外比率40%を目指してまいります。



NEXT100 進捗状況

建設関連製品事業

- ●総合実験センターの建設
- ●北米の物流拠点の整備
- ●久喜工場の拠点整備

自動車関連製品事業

● 北米における生産設備の更新 (検討中)



NEXT100 岡部総合実験センターの建設



NEXT100 岡部総合実験センターの目的

Point ① 新分野への進出を加速

→ ● 制震·免震·木造分野→ ● リニューアル市場

Point 2 既存製品の品質の向上



経営理念の追求

【安全・安心の提供を通じて社会に貢献する】



NEXT100 北米の物流拠点整備

OCM社の"更なる成長" に向けた投資として…

新物流拠点

●投資総額:約20億円

●倉庫面積:約12,000㎡

•竣工予定 : 来春





将来的には生産機能を付加



� □ 売上高100億円を目指す



NEXT100 久喜工場の拠点整備

事務棟完成イメージ



倉庫棟(自動ラック)完成イメージ



- ・物流機能の向上
- ・職場環境の改善



NEXT100 設備投資·研究開発費

3年間の設備投資計画額

170億円

【事業別内訳】

●建設関連製品事業

130億円

国内:生産拠点整備、研究開発投資

米国:物流拠点拡充、新規生産設備等

共通:IT投資、更新投資等

45億円 30億円

55億円

自動車関連製品事業

40億円

生產設備增強·研究開発投資

40億円



NEXT100 3ヵ年 業績目標

中期業績目標(2019年)

ト 売上高720億円、経常利益70億円を目指す

	前期実績	NEXT100 3 カ年業績目標					
(百万円)	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期			
売 上 高	63,190	62,000	67,500	72,000			
営業利益	5,527	5,700	6,300	6,900			
経常利益	5,780	5,800	6,400	7,000			
_{親会社株主に帰属する} 当期純利益	7,861	3,640	4,000	4,400			
ROE	15.7 %	7.0%	7.5%	8.1%			



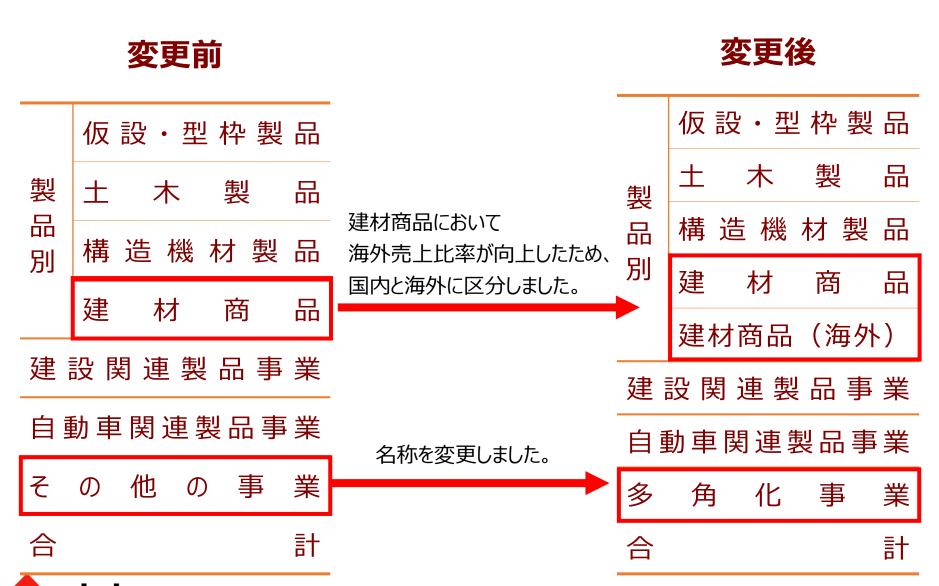
質疑応答

参考資料

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。 実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。 実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。



セグメントの変更について(2017年度より変更)



2017年度通期セグメント別・製品別売上高予想

(単位	(単位:百万円)			2016 実績	2017 予想	増減額	増減率	
	仮設	는 - 型	上枠 隻		7,093	7,377	283	4.0%
製	土	木	製	品	5,553	6,073	519	9.4%
品	構造	き 機	材製		18,342	20,500	2,157	11.8%
別	建	材	商	品	12,224	12,760	535	4.4%
	建材	商品	(海久	外)	4,496	4,690	193	4.3%
建	設 関	連製	! 品 事	業	47,711	51,400	3,688	7.7%
自	動車	関連	製品	事業	8,975	9,000	24	0.3%
木	テ	ル	事	業	5,204	_	_	_
多	角	化	事	業	1,299	1,600	300	23.1 %
合				計	63,190	62,000	△1,190	△1.9%



2017年度通期セグメント別営業利益予想

(単位:百万円)	2016 実績	2017 予想	増減額	増減率
建設関連製品事業	3,940	4,450	509	12.9%
自動車関連製品事業	1,021	1,080	58	5.7%
ホーテール・事ー業	501	_	_	_
多角化事業	63	170	106	166.8 <i>%</i>
合計	5,527	5,700	172	3.1 %



為替による影響

※期中平均レートを使用しております。

			2016 2Q実績	2017 2Q実績	増減額
米	۴	ル	117.48円	110.50円	△6.98円

約4.5億円の減収、約4千万円の減益要因

			2016 通期実績	2017 通期予想	増減額
米	۴	ル	110.90円	100.00円	△10.90円

約15億円の減収、約1.8億円の減益要因

